2025 年度全国高等専門学校体育大会 顧問会議資料

日時：2025 年 8 月 28 日(木) 監督会議終了後

場所：クラサスドーム大分会議室

【議題】

(1)日本高専陸上競技協会令和 6 年度収支決算並びに令和 7 年度予算案について(資料 1、2)

R6 年度収支決算について：釧路高専より全国大会経費は十分あり補助は不要ということで支出は無し。地区の駅伝大会への補助並びに陸マガ、月陸原稿の執筆料、サーバー等の使用に関する経費は例年通り。予備費からの支出 2,600 円は徳山高専の登録料過払いへの返金。

R7 年度予算書について：全国高専への補助がなかった分繰越が多くなっている。本年度の全国大会への補助には暑熱対策費も含み 50,000 円増額している。西日本高専駅伝を全国高専駅伝とすることで、補助金 100,000 円とする予定。そのほかの予算については例年通りとする。

(2)日本高専陸上競技協会登録費について(資料 3)

全国大会エントリー時の日本陸連登録者数を基準として一人 400 円を登録費として計算。年内に支払うことを願います。オンラインで振り込む場合も男女選手数をわかるように願います。

(3)令和 8 年度 第 61 回全国大会(案)について(東海北陸地区：林委員)

期日：9 月 5,6 日予定

会場：四日市中央緑地 会議室 体育館

開催校：鈴鹿高専

担当者：船越先生(鈴鹿)

変更点など：伊勢で実施すると宿泊費 30,000 円程度かかる見込みで、四日市周辺だと 1 万円強で納められる見込み。競技場があまり大きくないので、体育館を借り、暑熱対策を行う。初日に競技数を増やすようにタイムテーブルを変更することを検討中

(4)暑熱対策による今後の大会運営について

日本陸連通達により、7,8 月の開催は避ける方向で、9 月 1 週目を今後の開催予定としていく。予算についても暑熱対策を含むようにする。今回の大会の様子をもとに細かなところを検討していく事となる。クーリングタイムの導入、ミスト扇風機などを取り入れていく事となる。

(5)高専ランキングについて

各校が参加した大会終了後に必ず記録の申請を行ってください。申請の方法については日本高専陸上競技協会ウェブサイトに掲載してあります。全国大会ランキング種目については、申請をもとにランキングを作成しますので、期日までに申請されていない場合には全国大会ランキング種目の出場資格が得られません。なお、併せて各地区大会主管校においては、日本陸連への公認記録申請と共に高専ランキングへの申請を必ず行ってください。

(6)日本陸連登録者データについて

日本陸連登録者(高体連・学連・一般登録)については、4 月当初に登録されたものから変更があると思われます。登録料に関しては全国大会エントリー時の人数で処理を行いますので、人数の確認をお願いいたします。

(7)その他

・全国大会レポート

例年通り、陸上競技マガジンおよび月刊陸上競技に全国大会結果について記事を送付いたします。

【担当】

陸上競技マガジン 開催地区委員：永松委員(九州)

月刊陸上競技 次年度開催地区委員：林委員(東海北陸)

・全国高専駅伝について

これまでの西日本高専駅伝を全国高専駅伝と発展させていく予定。今年度第1回としている。スポンサーや計測会社への依頼により、各校の負担を減らすように考えている。詳細については地区委員より各校へ情報提供し、意見を集約していき決定を行う。12月27,28日の予定。

【報告事項】

(1)全国大会開催地区の今後の予定

2026(61回)：東海北陸 鈴鹿(四日市)

2027(62回)：中国 津山(岡山)

2028(63回)：近畿 神戸(未定)

2029(64回)：東北

2030(65回)：関東信越

2031(66回)：九州沖縄

2032(67回)：四国

2033(68回)：北海道

(2)事務局からの連絡

登録費の振込は期限までのところをお願いいたします。領収書が必要な場合はメールでお知らせください。